

森林政策

時の話題

あいち森と緑づくり事業による取組

日時：平成25年9月7日（土） 13:00～15:00

講師：服部 晋也（愛知県農林水産部 森と緑づくり推進室長）

概況



1. 森と緑の現状

人工林：木材価格の大幅な下落等により、所有者の努力だけでは間伐等の手入れが進まない。

里山林：利用されずに放置されているところが目立つ。

都市の緑：市街地の多くを占める民有地の緑が減少している。

2. あいちの森と緑づくり税の導入

既存の森と緑づくり施策の推進に加え、あいち森と緑づくり事業を行うことにより山から街まで緑豊かな愛知を実現する。

3. あいち森と緑づくり事業の仕組み

あいち森と緑づくり基金を設け、個人の年額500円、法人の県民税均等割額の5%の積立と寄附金により、事業を実施。

4. 全国を取組

全国47都道府県内のうち、33県が実施しており、2県が今後実施の見込み。

5. 愛知県の事業計画の概要

10年計画(H.21～H.30)総事業費220億円。

事業分野は以下のとおり。

①森林整備(110億円)

林業活動では整備が進まない、奥地や公道・河川沿いなどの人工林の間伐を実施。

②里山林整備(30億円)

抜き伐りや枯損木の除去。地域の特性ニーズに応じて、市町村が行う地域住民やNPO等との協働による保全活動を前提とした計画に基づく森林整備。

③都市緑化(60億円)

屋上緑化や壁面緑化の支援、並木道の再生の支援等。

④環境学習の推進等(20億円)

市町村やNPO団体が行う森や緑の育成活動や環境学習の支援、森林整備の意義や木材活用の効果についての普及啓発。

本県の特徴として、都市緑化や環境学習にも取り組んでいることがあげられる。